

材育成という教育理念のもと歴史的地理的にも恵まれた三重県をフィールドにS

挨拶を述べられた。続いて、鈴木英敏三重県知事から手紙による挨拶(代読:三重県環境

生活部地球温暖化対

策課小林克史課長)

が披露され、駒田美

弘三重大学長からピ

デオメッセージによ

る挨拶が述べられた。

第1部の基調講演

では、(環境文明研

究所代表取締役・所

長 認定NPO法人

環境文明21福間の加

藤二郎氏を招き、環

境文明論的SDGs

と三重大学・三重県

への期待」と題した講演が行われた。講演の

中で、「なぜSDGsなのか」「日本社会を

持続可能な環境文明社会に改築するためには

どうすればよいのか」「大学の役割は何か

という観点から説明された。

最後に、「音持つていた知恵と新しい知恵を

よく見比べながら新しい橋を作っていく場と



講演する加藤氏

### 広島大留学生が地域イベントで国際交流実習

広島大学短期交換留学プログラム(HUSA)留学生インタ-

ンが、去る2月16日に広島県呉市倉橋町で開催された倉橋フエ

スバルに参加、「国際交流企画」実習に挑戦した。

フエスに参加したのは、アローカル・インタナショナル(森

戸国際高等教育学院・恒松直美准教授担当)を受講しているHJ

S A留学生インターン6人(タイ・アメリカ・フランス・韓国・

中国・ベトナム出身)と応援する留学生5人(ドイツ・アメリ

カ・イギリス・台湾出身)。会場では「云

島大宇HUSAプログラム」と掲げたラ

イトを設営し、地域住民らと心温まる交

流の場を持った。HUSA留学生による

倉橋フエスナビ参加は6回目となる。

国際交流企画として、「世界文化ツアー」ベトナムの「折葉っぱ」

「世界の塗り絵と多言語ミニング」を披露し、地域住民らに一緒

に挑戦してもらった。今年も子どもたちに大人気で、塗り絵などを

楽しむかわいい笑顔を見ることができた。

フエスナビバル・ステージでは、今年度も「外国人に難し日本

語」と題した寸劇と音楽演奏も披露し、来場者から大きな声援が寄

せられた。最後は餅まきにも参加。地域住民らとの絆も毎年強まり、

実習とステージは年々進化を遂げている。



HUSAプログラムのインターンシップの受講生と応援学生